

調査レポート

物流・交通に対する被害を受けた企業が多数

— 早期段階の除雪や融雪道路の拡充を望む声も多々

豪雪に関する緊急アンケート調査

○ 調査目的 / 1月31日の大雪による県内企業の被害状況と今後の対策を把握するため実施

○ 調査時期 / 平成23年2月9日(水) ~ 2月16日(水)

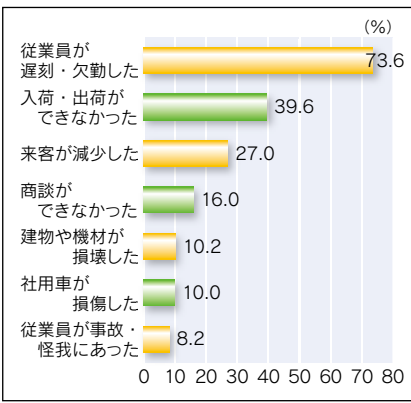
○ 調査対象 / 従業員10名以上の当所会員事業所1,690社

○ 回答数 / 599社 (回答率35.4%)

被害状況

企業に対する影響として最も多か

(図1) 自社の被害状況

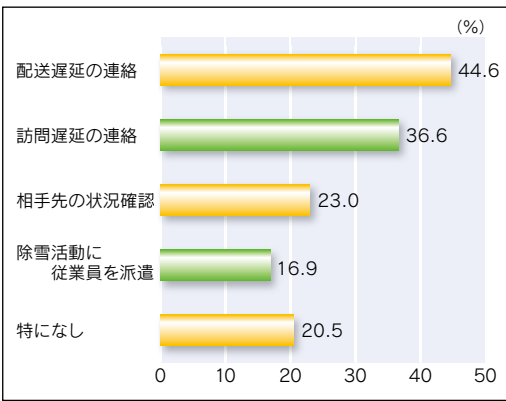


取り引き先への対応

ったのは「従業員が遅刻・欠勤した」(73.6%)であった。次いで「入荷・出荷ができなかった」(39.6%)、「来客が減少した」(27.0%)と続き、物流や交通に対する影響を裏付ける結果となった。

「配送遅延の連絡」(44.6%)、「訪問遅延の連絡」(36.6%)を行った事業所が多く、入荷ができなかったことや従業員の遅刻、高速道路や国道の通行止めの影響と考えられる。

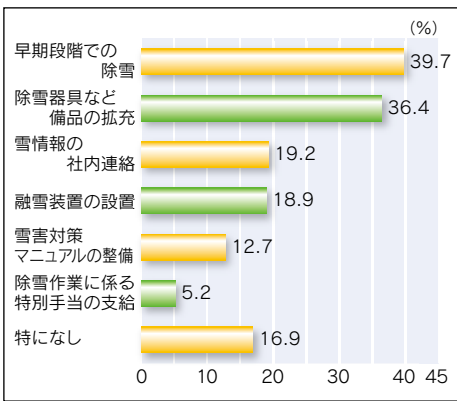
(図2) 取り引き先への対応



今後の雪害への対策

自社の雪害対策として最も多いのは「早期段階での除雪」(39.7%)であり、次いで「除雪器具など備品の拡充」(36.4%)となった。

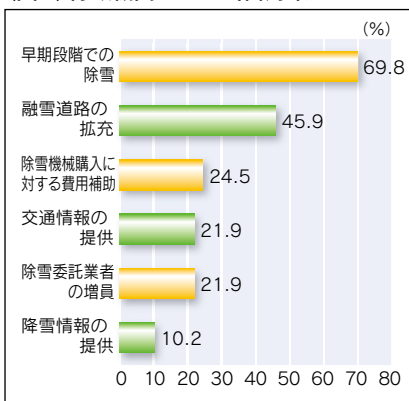
(図3) 今後の雪害への対策



行政機関へ望む雪害対策

雪害対策として望むものは、「早期段階での除雪」(69.8%)と回答した事業所が最も多く、次いで「融雪道路の拡充」(45.9%)となり、交通面での雪の影響を最小限に抑えてほしいと望む企業が多かった。

(図4) 行政機関へ望む雪害対策



その他、雪害への取り組みや意見

- 降雪が予測される場合は早めの出勤を指示した。(4件)
- 会社周辺の除雪に協力した。(3件)
- 高速道路や国道8号線はいつも物流が寸断される。行政には早急な対策を講じてもらいたい。(8件)
- 融雪装置をインフラとしてもっと設置してもらいたい。(6件)

「本調査に関するお問い合わせ先」

福井商工会議所 経営支援・人材育成課
TEL 0776(33)8283